



はるにし 1月号

「春に向けた『仕上げ』の季節に」

副校長 上田 純一

新年あけましておめでとうございます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、いよいよ3学期がスタートしました。昔から「1月は往(い)ぬる、2月は逃(に)げる、3月は去(さ)る」と申しますが、今年度のゴールテープを切るまでの時間は、実質あと2か月ほどしか残されておられません。この短い期間は、今の学年の「総仕上げ」であると同時に、次のステージへと飛び立つための助走期間、いわば「春への滑走路」でもあります。子どもたちが自信をもって次の学年や進路へと羽ばたけるよう、一日一日を大切に指導してまいります。

さて、慌ただしい時期ではありますが、こんな時こそ大切にしたいと願っているのが、静かに本と向き合う時間です。以前も書かせていただきましたが、読書の素晴らしさについてより多くの子どもたちに気づいてもらいたいと切に願っております。私事ですが、この冬休み、久しぶりに昔読んだ本を読み返してみました。すると、以前は気づかなかった登場人物の心の機微に気づき、ハッとする瞬間がありました。本はただの活字の羅列ではなく、読む時の自分の心の状態を映し出し、他者への想像力を深めてくれる鏡のようなものと改めて感じた次第です。

デジタル機器を通じたコミュニケーションが主となる現代ですが、紙のページをめくり、行間にある想いを汲み取る経験は、子どもたちの情緒を安定させ、豊かな人間性を育む土壌となります。

ご家庭や地域の皆様におかれましても、忙しい日々の合間に、子どもたちと「最近読んだ本」の話などをしていただければ幸いです。本年も、地域の子どもの健やかな成長のため、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

アルティメット・クリスマス杯

令和7年後期から、新たな生徒会本部が動き始めました。その生徒会本部役員初の大きなイベント、それが「アルティメット・クリスマス杯」でした。本校の目指す、「教育活動の中心に子どもがいる学校」や生徒会本部役員が公約として掲げた「異学年交流」「生徒が主体となって活動する学校を創る」ということを体現した、素晴らしい企画となりました。出場選手・運営スタッフを有志で募集し、選手110名・スタッフ31名ほど集まり、全員がアルティメットを通して交流する・全力で楽しむ・公平公正の精神を大切にするなど、生徒が主体となって同じ方向を向いて活動できました。その結果、参加者誰もがポジティブな感情をもって大会を終えることができました。イベント企画だけにとどまらず、今後も生徒が主体となって素敵な学校を創り上げていくことを期待しています。



2月の主な行事予定

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 6日(金) 2年校外学習、1年漢字検定 | 16日(月) セーフティ教室 |
| 7日(土) ビブリオバトル(本の森ちゅうおう) | 21日(土) 都立一次・前期入試 |
| 10日(火) 1年校外学習、給食試食会 | 24日(火)～26日(木) 学年末考査 |
| 14日(土) 土曜学校公開日、新入生説明会 | 26日(木) 食育講演会 |